

令和4年度 総合的な学習の時間 全体計画

大竹市立大竹小学校

<p>教育法規など 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領</p>	<p>学校教育目標「みんなで伸びる」 ～夢に向かって、すすんでチャレンジする竹っ子～</p>	<p>児童の実態 基礎・基本はある程度身に付いているが、活用力に差がある。課題を設定し情報収集する力はあるが、整理・分析して自分の考えをもち、分かりやすく表現する力は十分ではない。</p>
<p>社会の要請 生きる力の育成 思考力・判断力・表現力の育成 学ぶ意欲の育成 豊かな心と健やかな体の育成</p>	<p>めざす子ども像 自己実現に向かい自ら目標を達成しようとする子供 主体的に考え表現し合いながら積極的に課題を解決しようとする子供 あいさつや無言掃除、児童会活動など一生懸命に取り組む子供</p>	<p>地域・保護者の願い ・基礎的・基本的な内容の定着と思考力・自主性の伸長。 ・安心して生活できる学校環境 ・地域行事やボランティア活動への子どもたちの積極的な参加。</p>
<p>地域の様子 大竹市は、海や山に囲まれた自然環境に恵まれ、小瀬川流域に広がっている。校区には、神社や寺、石造物、鯉のぼり・和紙・祭りなどの伝統・文化が残り、世界有数の技術を誇る地元企業がある。</p>	<p>研究主題 本質的な問いにせまる課題を主体的に解決しようとする児童の育成 ～リフレクションを活用した生活科、総合的な学習の時間の探究的な学びを通して～</p>	<p>教職員の願い ・基礎・基本の学力の定着している子 ・自ら学び、考えをもち、自信をもって表現する子 ・自ら課題を見つけ調べまどめる子 ・より多くの人とのかかわりの中で人間らしい価値を学び、自己の生き方を考える子</p>

総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる学習を通して、粘り強く課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

(1)大竹の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、探究的な学習のよさに気付く。
 (2)大竹の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報をもとに整理・分析して、まとめ・表現することができる。
 (3)大竹の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら社会と関わり行動していこうとする態度を養う。

学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	
資質・能力	知識及び技能	○地域の食のすばらしさやそれに関わる人々の工夫が分かる。 ○学びを整理する。 ○地域の食のすばらしさやそれに関わる人々の工夫についての理解は、大竹のステキについて探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。	○生命のつながりを理解し、生命を守る取組について理解する。 ○学びを他事象に関連づける。 ○生命のつながりや、生命を守る取組についての理解は、命を守るためのことからについて探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。	○地域の福祉に関する現状と課題を理解し、それに携わる人々の願いについて理解する。 ○学びを他事象に関連づける。 ○地域の福祉に関する現状と課題、それに携わる人々の願いについての理解は、笑顔広がる町について探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。	○地域の伝統のよさとそれに携わる人々の願いが分かるとともに地域の未来像を考える。 ○学びを他事象に関連づける。 ○地域の伝統のよさとそれに携わる人々の願いについての理解は、大竹の伝統と心を伝えるために探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。
	思考力・判断力・表現力等	○身近な生活の中から学習課題を見つけ、課題解決のための見通しをもつことができる。 ○課題解決に必要な資料を収集し、種類に合わせて蓄積することができる。 ○課題解決に向けて、情報を整理し考えることができる。 ○相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。	○身近な生活の中から学習課題を見つけ、課題解決のための見通しをもつことができる。 ○課題解決に必要な資料を、手段を選択しながら収集し、種類に合わせて蓄積することができる。 ○課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えることができる。 ○相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。	○調べたい学習課題を見つけ、課題解決のための見通しをもち、学習計画を立てることができる。 ○課題解決に必要な情報を、適切な方法や体験活動を通して多様に収集し、分類して蓄積することができる。 ○課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理分析し考えることができる。 ○相手や目的に応じて適した方法を用いて自分の考えを表現し発信することができる。	○調べたい学習課題を見つけ、課題解決のための見通しをもち、学習計画を立てることができる。 ○課題解決に必要な情報を、適切な方法や体験活動を通して多様に収集し、分類して蓄積することができる。 ○課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理分析し、必要に応じて修正しながら考えることができる。 ○相手や目的に応じて、適した方法を用いて、自分の考えを表現し発信することができる。
	学びに向かう力、人間性等	○課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとする。 ○自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。 ○地域の人々との関わりを通して学んだことをもとに、自分でできることを見つけようとする。	○課題解決に向け、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとする。 ○自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。 ○地域の人々との関わりを通して、学んだことをもとに、自らの生活や行動に活かしていく。	○課題を決め、自分との関わりで課題をとらえるとともに進んで解決しようとする。 ○友だちと意見交換をしながら協働して自分の考えを深め、学び合おうとする。 ○地域の人々や専門家との交流を通して、学んだことを自己の生き方につなげて考え、社会に貢献しようとする。	○課題を決め、自分との関わりで課題をとらえるとともに進んで解決しようとする。 ○友だちと意見交換をしながら協働して自分の考えを深め、学び合おうとする。 ○地域の人々や専門家との交流を通して、学んだことを自己の生き方につなげて考え、社会に貢献しようとする。

大竹のまちに愛着をもち、大竹のまちを支える人になるためにはどうしたらよいか。				
探究課題	・大竹のおいしいものなど、たくさんステキを見つけよう。 ・見つけた大竹のステキを周りの人に伝えよう。	・生活の安全を守っているものや人、環境との関連を調べ、自分にできることを考えよう。 ・守ってくれているものや人への感謝の気持ちを伝えよう。	・さまざまな人々の暮らしを調べ、その人たちの思いや努力を知ろう。 ・将来の町づくりの役割として、今自分にできることを考えよう。	・大竹の伝統文化を調べ、それを守ってくれる人に感謝の気持ちをもとう。 ・将来の町づくりの役割として、自分たちができることを考え発信しよう。
学習対象	食 自校の田で収穫する米づくり 地域の生産者や食に携わっている人	生命 暮らしを守っているもの・防災・環境 生命のつながり	福祉 園児 高齢者 障害のある方 笑顔広がるまちづくり	伝統文化 大竹和紙や紙太鼓などの伝統文化 「笑顔元気かやぐ大竹」にするまちづくり
主な学習事項	食の安全や、自分たちの生活とのかかわりを考える。 よりよい食生活の創造を目指した取組を行う。	災害について調べ、環境との関連に着目し、防災のためにできることを考える。 生命現象の神秘やすばらしさ、自尊、感謝について考える。	高齢者、障害者を取り巻く環境について考える。 園児との交流を計画実行する。 自分たちができるユニバーサルデザインの提案を行う。	大竹の課題「大竹和紙の伝承」、「人口の減少」等から大竹市、大竹和紙の魅力を伝える方法を考え発信する。 「これからの大竹」について考えを提言する。
主な学習活動	大竹で作られている食材を知り、新しい料理を考える。 教えてくれた人をよんで感謝の会を開く。	安全な暮らしを守ることにについて調べる。 自分自身の命につながる人に感謝する会を開く。	高齢者福祉施設・社会福祉施設・保育園との交流等を通して、暮らしを支える仕組みを調べる。 笑顔広がる町にするためにできることを考え、実行する。	地域の歴史や伝統文化に触れる。 地域の一人として、これからの大竹の在り方を考え、発信する。

指導方法	指導体制	学習の評価
・内容に迫るために、意図的に身近な地域の自然や文化、人と関わる体験的な場を設定し、児童が追究したい課題を設定させる。 ・追究の方法や内容、成果についての表現や発信の方法を提示して選択させる。 ・単元ごとに、収集した情報を整理・分析する活動を仕組み、探究の過程を充実させる。また、課題の解決に協働的な活動を効果的に取り入れる。 ・自分の思いや考えを生き生きと表現できるように学習展開を工夫する。	・学年を中心に、年間指導計画に基づいて指導、支援、誘導をする。 ・専科・養護教諭・栄養教諭と連携する等、校内の全ての教職員が協力して指導する。 ・保護者や経験豊かな人材(マイタウンティーチャー)、地域のボランティア等との協働体制を充実させる。	・評価規準やルーブリック等を活用し、子供のノートやワークシートの記述、成果物、授業の発言内容等から、評価を行う。 ・リフレクションシート等による自己評価や相互評価を行う。 ・子供の発見した事象、変容した考えや生き方等を重視する。

各教科等との関連				
道徳	国語	社会	算数	理科
・道徳的判断や心情をもとに望ましい集団活動を行うことで児童の道徳的実践力を育てる。	・相手が伝えたい内容を聞き、適切に聞き取ったり、自分の思いや考えを相手に伝えたりするように表現する力を育てる。	・社会の事象に関心をもち、自ら進んで調べようとする態度を育てる。 ・統計資料、年表等を正しく読み取ったり、活用したりする力を育てる。	・筋道を立てて考える力を育てる。 ・調べたり試したりしながら課題を解決していこうとする態度を育てる。 ・目的に合わせてグラフや表を使って表現する力を育てる。	・自然の事象に関心をもち、進んで調べようとする態度を育てる。 ・科学的に筋道を立てて考え、問題解決する力を育てる。 ・見通しをもって観察、実験する力を育てる。
生活科	音楽・図工・家庭科・体育	外国語	特別活動	
・身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもち、生活に必要な基礎技能を身に付けさせる。(家庭科) ・健康や安全に関する知識を身に付けさせる。(体育)	・鑑賞を通して異文化理解をさせる。(図工・音楽) ・生活を工夫しようとする実践的な態度、日常生活に必要な基礎技能を身に付けさせる。(家庭科) ・健康や安全に関する知識を身に付けさせる。(体育)	・外国語を通じて言語や文化について体験的に理解を深める。	・望ましい集団活動を通して集団の一員としての自覚を深め協力してよりよい生活を築いていこうとする自主的実践的な態度を育てる。	